

大地

NO. 271

日頃よりありがとうございます。こちらは、梅雨入り後ジメジメした天候が続いています。関東の方は本日(18日)梅雨明けした様ですね。こちらもう少しでしょうか。梅雨と言っても局地的に大雨に見舞われたり、晴れた日は真夏日になったりと昔の梅雨とは変わった様感じますね。

稲の方はというと気温が高い影響もあって例年より3日ほど早く穂を出しそうで、今後の天候次第では収穫時期が更に早くなることも予想されます。7月は中干し、追肥、草刈り作業です。下の写真にも様子載せましたが、生育が早い分作業が追われ気味になりましたが、どの作業も適期に終わることができました。昨年の8月は雨が全く降らず連日猛暑日でした。今年も暑くなる予想ですが、高温障害などにならないよう水管理等の対策もしっかりして高品質米になるように頑張りたいと思います。

これから夏本番です。暑さも更に厳しくなるかと思えます。こまめに水分補給して頂きながら熱中症に気を付けてお過ごしください。



「中干し」と言って一度田んぼの水を抜いて田面を乾かします。同時に溝掘り機械を使って溝を掘り水の通り道を作ります。溝切の効果は色々あって、土壌中へ酸素を供給することで根の生育が良くなり、稲の姿勢も良くなります。その為、倒れにくくなり、水管理もしやすくなります。この後、田面に小ひびが入るくらいまで乾かします。

こちらは追肥の様子です。茎の中では幼穂(ようすい)とよばれる稲穂が作られる時期です。このタイミングでしっかり栄養を与えるために追肥をします。品種によって振る時期も違いますし、田んぼによっても葉の色が違う為、散布量を考えながら振っています。

